

◎令和 7 年度 江戸川区立篠崎第五小学校
第 3 学年国語科（書写） 評価規準

単元名・教材名・指導目標	学習活動	評価規準
書写のやくそく 〔教科書 巻頭〕 ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる)を理解する。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを理解する。 3 目次を見て、1年間の学習内容を知る。	【態】 進んで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
□毛筆スタートブック 毛筆のひみつ 〔教科書P2-3〕 ◎毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義について理解し、書写学習への意欲を高めることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 第3学年から毛筆を使用した学習が始まることを知る。 2 P2-3を見て毛筆の特徴を知るとともに、毛筆で学習する意義を考え、グループで話し合う。	【知】 毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義を理解している。 【思】 〔毛筆の特徴を確かめている。〕 【態】 進んで(①)毛筆の特徴を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)毛筆で学習する意義を話し合おうとしている(④)。
用具のじゅんぴ 〔教科書P4-5〕 ◎毛筆用具の準備のしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 P4-5の写真と解説を見て、毛筆用具の名称を知り、準備のしかたを理解する。 2 P5の写真と解説を見て、墨のすり方を知る。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆用具の準備のしかたを理解している。 【思】 〔毛筆用具の準備のしかたを確かめている。〕 【態】 進んで(①)毛筆用具の準備のしかたを理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。
書くときのしせい／筆の持ち方 〔教科書P6-7〕 ◎毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解して、姿勢や持ち方を正しくすることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 P6の写真を見て、毛筆で書くときの姿勢を理解する。 2 P7下段の唱え歌「足はべったん せなかはびん…」に合わせて確かめながら、姿勢を正しくする練習をする。 3 P7上段の写真を見て、筆の持ち方を理解する。 4 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。 【思】 〔正しい姿勢や筆の持ち方を確かめている。〕 【態】 進んで(①)毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)姿勢や持ち方を正しくしようとしている(④)。
えんぴつとくらべよう／用具のかたづけ 〔教科書P8-9〕 ◎毛筆の持ち方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕 ◎毛筆用具の片づけ方を理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 P8上段の写真を見て、硬筆で書くときの姿勢と比べながら、筆を持つときはひじを上げること、鉛筆よりも立てて持つことを理解する。 2 P8下段の写真を見て、毛筆で書くときの腕の使い方を理解し、実際に筆を持って動かしてみる。 3 P9の写真や解説を見て、毛筆用具の片づけ方を理解する。 4 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。 【思】 〔筆の正しい持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を確かめている。〕 【態】 進んで(①)筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)正しい持ち方で腕を動かし、毛筆用具を適切に扱おうとしている(④)。
学習の進め方 〔教科書P10-11〕 ◎学習の進め方を理解することができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	1 P10-11上段を見て、学習の進め方を理解する。 2 P10-11下段を見て、タブレット端末を使う姿勢や活用のしかたを理解する。	【知】 学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】 〔学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。〕 【態】 進んで(①)書写学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)学習を進めたりタブレット端末を活用したりしようとしている(④)。
ほ先の向きとじくのかたむき／空書き 〔教科書P12-13〕 ◎毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 毛筆で書くときの穂先の向きと軸の傾きについて、気をつけるポイントを理解する。 2 筆で書く前に空書きをして、穂先の向きや書くときの動きを確かめるとよいことを知る。 3 手のひらを穂に見立て、腕を大きく動かして、横画を空書きする。 4 正しい姿勢と筆の持ち方に気をつけて、毛筆で任意の線を書く。	【知】 毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。 【思】 〔毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを確かめている。〕 【態】 進んで(①)毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)空書きをしたり、正しい姿勢と持ち方に気をつけて任意の線を書いたりしようとしている(④)。

単元名・教材名・指導目標	学習活動	評価規準
口漢字の筆使い 点画のしゅるい [教科書P14-15] ◎点画の種類を理解することができる。[知技(3)ウ・エ(ウ)]	1 漢字が点画で構成されていること、点画には名称があることを確かめる。 2 「二・土・日・木・小・元」の中の点線で示された点画を指でなぞり、空欄にその名称を書き込む。	【知】 点画の種類を理解している。 【思】 点画の種類を、形の特徴と名称とを関連づけて確かめている。 【態】 進んで(①)点画の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)点画を指でなぞり、その名称を書こうとしている(④)。
「横画」 [教科書P16-17] ◎毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 P16上段の図と解説を見て、横画の始筆・送筆・終筆の筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で横画をなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P16下段の「たいせつ」を見て、横画の書き方のポイントを確認める。 4 空書きした後、横画の筆使いに気をつけて、毛筆で「二」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「二・一・三」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】 毛筆で「二」を書写するなかで、横画の書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)横画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)横画をもつ漢字を書こうとしている(④)。
「たて画」 [教科書P18-19] ◎毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 P18上段の図と解説を見て、縦画の始筆・送筆・終筆の筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で縦画をなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P18下段の「たいせつ」を見て、縦画の書き方のポイントを確認める。 4 空書きした後、縦画の筆使いに気をつけて、毛筆で「土」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「土・下・上」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】 毛筆で「土」を書写するなかで、縦画の書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)縦画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)縦画をもつ漢字を書こうとしている(④)。
「おれ」 [教科書P20-21] ◎毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 P20上段の図と解説を見て、折れの筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で折れをなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P20下段の「たいせつ」を見て、折れの書き方のポイントを確認める。 4 空書きした後、折れの筆使いに気をつけて、毛筆で「日」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「日・古・画」を鉛筆でなぞる。 6 夏休み前に、P65「筆をあらおう」を参照しておく。	【知】 毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書いている。 【思】 毛筆で「日」を書写するなかで、折れの書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)折れの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)折れをもつ漢字を書こうとしている(④)。
小筆で書いてみよう [教科書P22-23] ◎小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ウ)]	1 P22の写真と解説を見て、小筆の持ち方や、鉛筆の持ち方との違いを理解する。 2 正しい持ち方に気をつけて、任意の線や点画、自分の名前などを小筆で書く。	【知】 小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書こうとしている。 【思】 小筆の正しい持ち方を確かめている。 【態】 積極的に(①)小筆の使い方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)正しい持ち方で書こうとしている(④)。

単元名・教材名・指導目標	学習活動	評価規準
書写広げたい①〈国語〉 [教科書P24-25] ◎手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えることができる。[B(1)イ・ウ・エ、(2)イ]	1 手紙文の形式、封筒への住所や宛名、差出人の書き方を理解する。 2 相手に気持ちを伝えるという役割を大切に、今までに学習した知識・技能を生かして手紙を書く。(または、P24-25の文例を視写する。)	【知】 手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 案内の手紙を書く活動のなかで、手紙の書き方を確かめたり、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えたりしている。 【態】 進んで(①)手紙の書き方を理解し(③)、これまでの学習を生かしながら(②)案内の手紙を書こうとしている(④)。
書写広げたい②〈国語〉 [教科書P26-27] ◎横書きの書き方に注意して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)]	1 横書きの2種類の書き方を知り、書きやすい方を選んで、「石の上にも三年」を鉛筆で書く。 2 数字の書き方を確かめ、鉛筆で書く。 3 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】 横書きの書き方に注意して書いている。 【思】 横書きの例文を書くなかで、横書きの2種類の書き方を確かめている。 【態】 積極的に(①)横書きの書き方や数字・ローマ字の書き方を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)例文を書こうとしている(④)。
力の入れ方 [教科書P28] ◎毛筆を使用して、筆圧に注意して書くことができる。[知技(3)エ(ウ)]	1 P28の写真を見て、筆圧と点の大きさ・線の太さの関係を理解する。 2 墨の付いていない筆でP28の線をなぞり、力の入れ方を確かめる。 3 筆に墨を付け、筆圧を変えて、いろいろな太さの横画を書く。	【知】 毛筆を使用して、筆圧に注意して書いている。 【思】 筆圧によって点の大きさや線の太さが変わることを確かめている。 【態】 積極的に(①)筆圧に注意して(3)、学習課題に沿って(②)いろいろな太さの横画を書こうとしている(④)。
「左はらい」「右はらい」 [教科書P29-31] ◎毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 墨の付いていない筆で左払いと右払いをなぞり、筆圧について考える。 2 P29-30下段の「たいせつ」を見て、左払いと右払いの書き方のポイントを確認する。 3 空書した後、左払いと右払いの筆使いに気をつけて、毛筆で「木」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「木・矢・足」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「木」を書写するなかで、書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)左払い・右払いの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)左払い・右払いをもつ漢字を書こうとしている(④)。
「点」「はね」 [教科書P32-33] ◎毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 墨の付いていない筆で点とはねをなぞり、穂先がどこを通るかや筆圧について考える。 2 P32下段の「たいせつ」を見て、点・はねの書き方のポイントを確認する。 3 空書した後、点・はねの筆使いに気をつけて、毛筆で「小」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「小・少・京」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「小」を書写するなかで、点・はねの書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)点・はねの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)点・はねをもつ漢字を書こうとしている(④)。
「曲がり」 [教科書P34-35] ◎毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 墨の付いていない筆で曲がりをなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 2 P34下段の「たいせつ」を見て、曲がりの書き方を確かめる。 3 空書した後、曲がりの筆使いに気をつけて、毛筆で「元」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「元・丸・光」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「元」を書写するなかで、曲がりの書き方を確かめている。 【態】 進んで(①)曲がりの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)曲がりをもつ漢字を書こうとしている(④)。

単元名・教材名・指導目標	学習活動	評価規準
ことば 〔教科書P36-37〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	1 ことわざを、声に出して読む。 2 これまでに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、ことわざを鉛筆でなぞる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 ことわざをなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能を確かめている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かしながら(②)硬筆でことわざをなぞろうとしている(④)。
口平がなの筆使い 平がな(丸み) 〔教科書P38-39〕 ◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	1 平仮名「つ」と漢字「五」の筆使いを比べ、違いを見つける。 2 P38下段の「たいせつ」を見て、平仮名の筆使いは、漢字に比べて丸みがあることを理解する。 3 平仮名の筆使い(丸み)に気をつけて、毛筆で「つり」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「つり」「にじ」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「つり」を書写するなかで、平仮名の筆使い(丸み)を確かめている。 【態】 進んで(①)平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)平仮名を書こうとしている(④)。
口漢字の組み立て 部分の組み立て方 〔教科書P40-41〕 ◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)〕	1 二つの「晴」を見比べ、左右の部分でできている漢字を整えて書くにはどうしたらよいかを考える。 2 P40下段の「たいせつ」を見て、左右の部分でできた漢字は、それぞれの部分の幅を狭くすると字形が整うことを理解する。 3 左右の部分の組み立て方に気をつけて、鉛筆でP41の漢字を書く。	【知】 左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 左右の部分でできている漢字を書くなかで、幅を狭くすると字形が整うことを確かめている。 【態】 積極的に(①)左右の部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)左右の部分でできている漢字を書こうとしている(④)。
口文字の配列 行の中心 〔教科書P42〕 ◎配列(行の中心)に注意して読みやすく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	1 二つの「図工室」を見比べ、読みやすい方を選び、言葉や文を読みやすく書くにはどうしたらよいかを考える。 2 P42下段の「たいせつ」を見て、文字の中心をそろえると、行が整って読みやすくなることを理解する。 3 文字の中心を見つける目安を確かめる。 4 行の中心に気をつけて、「立冬」「東西」を鉛筆でなぞる。	【知】 配列(行の中心)に注意して読みやすく書いている。 【思】 硬筆で「立冬」「東西」をなぞるなかで、文字の中心を見つける目安を確かめている。 【態】 進んで(①)配列(行の中心)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)言葉をなぞろうとしている(④)。
できているかな 〔教科書P43〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	1 P43の各項目ができているかチェックし、鉛筆の正しい持ち方を確認する。 2 鉛筆の正しい持ち方で、任意の文字を書く。	【知】 筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】 自分の筆記具の持ち方を確かめている。 【態】 積極的に(①)自分の筆記具の持ち方を確かめ(③)、今までの学習を生かして(②)筆記具の持ち方を正しくして任意の文字を書こうとしている(④)。
口まとめ 書きぞめ 〔教科書P44-47・P61-64〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、毛筆で「正月」や「友だち」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、鉛筆で文章を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。

単元名・教材名・指導目標	学習活動	評価規準
三年生のまとめ①② [教科書P48-51] ◎第3学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	1 P48-49の『『たいせつ』のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「水玉」を書くときに生かせることを話し合っ、自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「水玉」を書く。 3 P58-60「三年生で学習する漢字」などから、 2 で決めためあてに沿った文字を選んで、鉛筆で書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 毛筆で「水玉」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
【もっと知りたい】 全国筆・紙・すみ・すずりマップ [教科書P52-53] ◎全国で作られている筆・紙・墨・硯を知り、毛筆用具や書写学習への関心を高めることができる。[知技(3)エ(ウ)]	1 P52-53の地図を見て、全国で作られている筆・紙・墨・硯について知る。 2 P53下段の写真を見て、筆・紙・墨・硯の作り方を知る。 3 理解したことや感じたことを友達と交流し、毛筆用具や書写学習への関心を高める。	【知】 全国で作られる毛筆用具や、その作り方を理解している。 【態】 進んで(①)全国で作られる毛筆用具やその作り方を理解し(③)、今までの学習を生かして(③)理解したことや感じたことを交流しようとしている(④)。
□資料 平がな／かたかな [教科書P54-55] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]	1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
一・二年生で学習した漢字 [教科書P56-57] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 第1学年及び第2学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
三年生で学習する漢字 [教科書P58-60] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	1 第3学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
筆をあらおう [教科書P65] ◎筆の洗いや乾かし方を理解することができる。[知技(3)エ(ウ)]	1 筆の洗いや乾かし方を理解し、丁寧に筆を洗う。	【知】 筆の洗いや乾かし方を理解している。 【思】 筆の洗いや乾かし方を確かめている。 【態】 積極的に(①)筆の洗いや乾かし方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。